

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	尿毒症性心筋症のMRI評価に関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2026年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科で SIEMENS 社製の MR 装置 (MAGNETOM Prisma) を用いて心臓 MRI 検査を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2022年5月1日 から 2023年7月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第二内科、小児科		
⑦ 研究責任者	氏名	三好啓介	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、血液検査結果(Ht 値、クレアチニン、eGFR)、臨床診断、現病歴、MR 画像		
⑨ 研究の概要	<p>慢性的な腎機能障害の評価として、慢性腎臓病 (Chronic kidney disease : CKD) の重症度分類が広く用いられています。腎障害が進むと心筋障害が合併してくることも知られており、尿毒症性心筋症と呼ばれています。CKDのステージが進むと心筋障害は増悪し、心筋浮腫がみられるとされています。</p> <p>心臓MRIは心臓の機能評価や心筋の性状評価に広く用いられています。T1マッピングを用いたNative T1の測定は心筋障害を定量評価することができる手法です。各種の心筋症の診断に用いられていますが、急性期病変に出現する心筋浮腫に対する特異性は低いです。一方、T2 マッピングは主に心筋の水分量を反映することで心筋浮腫の評価に用いられます。</p> <p>本研究の目的は、心臓MRIを撮像された患者さんを慢性腎臓病のステージ別に分類して、腎機能障害と心筋障害および心筋浮腫との相関を評価することです。</p> <p>本研究はSIEMENS社のMR装置を用いていますが、SIEMENS社からの寄付金の受け入れはありません。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2023年 10月 10日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡くださ		

	い。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：三好啓介		
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285